

2 現職教育・研究推進

(1) 目的

教育専門職としての自覚を持ち、自らの資質の向上に資することを目的に、児童の人間力を育み、一人一人を生かす（インクルーシブ）教育を推進するため、主体的に研修に努め、教育効果の向上を図る。

(2) 本年度の研究主題

自分の考えをもち、ともに学び合う児童の育成

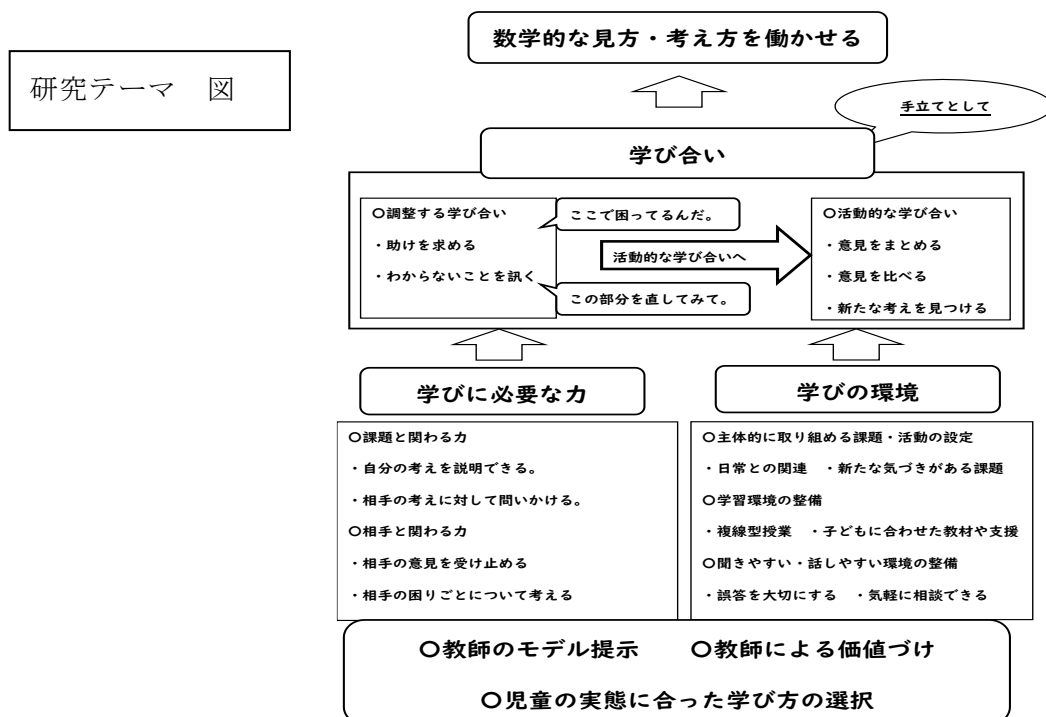
～数学的な見方・考え方を働かせる算数科の授業作りを通して～

(3) 主題設定の理由

本校においては、令和7年度より「数学的な見方・考え方を働かせる児童を育成するために学び合いを活用した授業作り」をテーマに指導方法の工夫・改善に取り組んできた。昨年度から始めた算数科に対する取り組みによって、困り感を抱えている児童が学び合いを通して自分で学習に向かうことができるようになった。一方で、算数の基礎学力の定着にまだまだ課題が見られた。

この課題をふまえて今年度の研究主題は昨年度に引き続き、「自分の考えをもち、ともに学び合う児童の育成」、副題を「数学的な見方・考え方を働かせる算数科の授業作りを通して」とした。「自分の考えをもち」とは主体的に学ぶこと、「ともに学び合う」とは他者との関わりを通して自分の考えを深めたり広げたりすることと考える。自分の考えを周りの児童との対話を通してより広げることを通して、算数科における数学的な見方・考え方を働かせる児童を育成することをねらいとしている。

これらのことから、今年度も算数科に焦点を当て、3部会で研究することをより明確にし、相互の関わり合いを深め、児童の学力向上と教員の指導力向上を目指していく。



(4) 児童に身に付けさせたい力

- ① 見通しを持ち、筋道を立てて考える力
- ② 数学的な見方・考え方を働かせ、課題を解決する力
- ③ 自分の考えや根拠を言葉や文字で伝える力
- ④ 他者と共有することを通して自分の考えを広げる力

(5) 研究の視点

- ① 目的に応じたともに学び合う場面の設定
- ② 主体的に学習に取り組むしかけづくり（発問・声かけ、学習活動、学習環境、教材）
- ③ 児童の既習事項を取り入れて数学的な見方・考え方を働かせる姿
- ④ 自分の考えをまとめ、表現するための支援（UD・ICTの活用）

(6) 具体的な取組内容

- ① 算数科で数学的な見方・考え方を働かせるための指導法の共有
(学び合いの目的を意識した学習計画の作成)
- ② 算数科における系統的な指導（昨年度の学習計画の活用）
- ③ 「ともに学び合う児童の育成」に基づく一学年一実践（研究授業、学年研）
- ④ 朝の学習（タブドリ）・補充学習（よむ YOMU ワークシート）・家庭学習のすすめ（計スキ）
の時間を活用した、基礎的・基本的な学力の充実と定着
- ⑤ UD化チェックリスト・スクリーニングテスト（ひらがなプロジェクト）

(7) 研究計画

- ① 研究主題に沿った現職教育、随時必要に応じて行う現職教育
- ② 研究授業・学年研・授業研究会
- ③ 計画的な部会の運営

月	実 施 内 容
4	○教育目標・教育方針の共通理解 ○研究計画立案 ○読み書き等スクリーニングテスト実施 ○研究推進組織編成・研究主題・主題設定の趣旨・研究の視点設定 ○年間指導計画作成 ○研究内容・研修方法の決定 ○校内研修「各調査問題実施に向けた共通理解」
5	○校内研修「三部会の取り組み交流」
6	○校内研修「授業研の学習指導案検討」 ○学年研 ○スクリーニングテスト（ひらがなプロジェクト） ○校内研修「インクルーシブ教育について」
7	○校内研修「授業研・研究協議」 「授業実践や学級経営実践例の発表および意見交換」 ○校内研修「児童の実態把握」 ○校内研修「三部会の取り組み交流」
8	○夏期校内研修①「研究主題に沿った研修」 ○夏期校内研修②「特別支援」
9	○校内研修「授業研の学習指導案検討」
10	○校内研修「授業研・研究協議」 ○学年研
11	○学年研
12	○学年研 ○校内研修「三部会の取り組み交流」
1	○校内研修「授業研の学習指導案検討」 ○校内研修「授業研・研究協議」 ○読み書き等スクリーニングテスト実施
2	○学年研 ○校内研修「三部会の取り組みのまとめ（成果と課題及び次年度に向けて）」
3	○校内研修「児童の様子（次年度に向けて）」